

Hokkaido Research Organization

平成25年度
道民意見把握調査
調査結果報告書



道総研

地方独立行政法人

北海道立総合研究機構

— 目 次 —

◆調査の趣旨、調査の種類・項目・対象者、回答状況	1
◆調査結果	2
◆アンケート様式	6

◆調査の趣旨

本調査は、道総研の中期計画における「第2-2-(2) 道民意見の把握と業務運営の改善」を踏まえ、道民の皆様から幅広く意見を聴取し、その結果を業務の実施方法や運営の改善などに反映させることを目的に実施したものです。

◆調査の種類・項目・対象者

	イベント参加者	市町村、関係団体
対象者	道総研が実施したイベントに参加された方。	道内市町村、各種関係団体。
調査方法	アンケート方式により実施した。	
実施期間	平成24年10月～25年9月	平成25年3～4月

◆回答状況

調査対象	回答数
道民向けイベント参加者	1,531
企業向けイベント参加者	1,182
市町村	154
関係団体	21
合計	2,888

※道民向けイベント

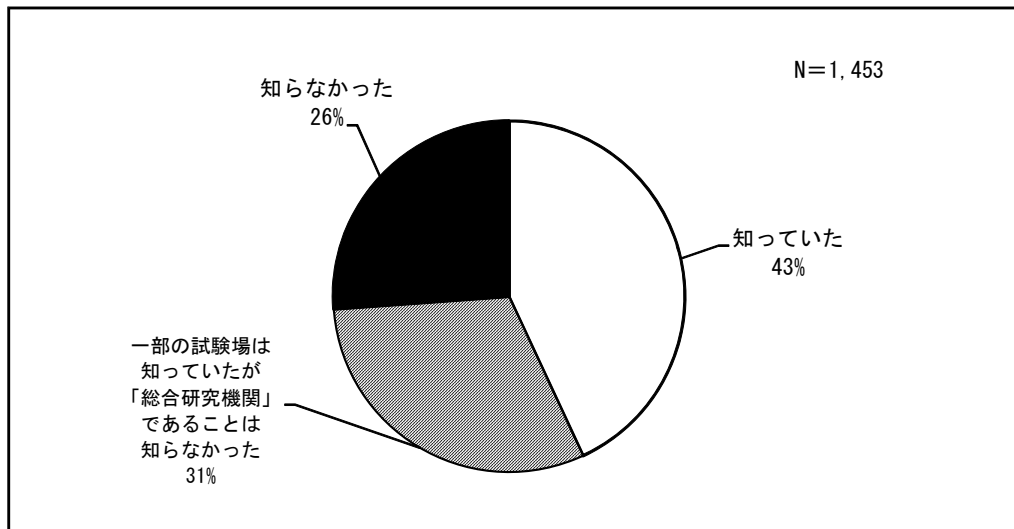
公開デー、道民向けセミナー等

※企業向けイベント

成果発表会、企業向けセミナー等

◆調査結果

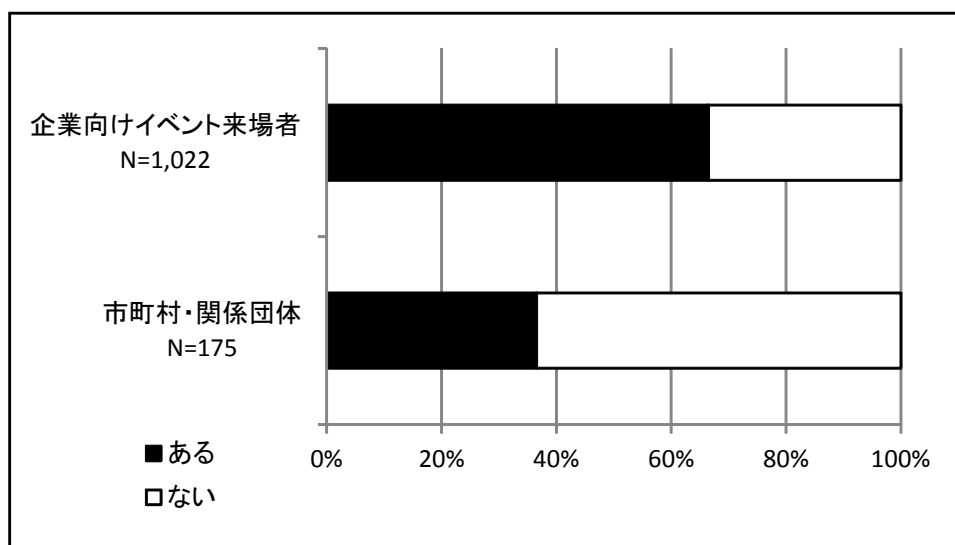
- 道総研は、農業、水産業、林業、工業、食品産業、環境、地質及び建築の各分野に関する研究、技術支援等を行う試験場からなる「総合研究機関」であることをご存知ですか。
 (1つのみ) 【道民向けイベント参加者(公開デー、道民向けセミナー等)のみ】



- ・「知っていた」との回答が全体の約43%でした。
- ・「一部の試験場は知っていたが、「総合研究機関」であることは知らなかった」「知らなかった」との回答が約57%でした。

- これまでに業務上の連携等、道総研を利用したことはありますか。

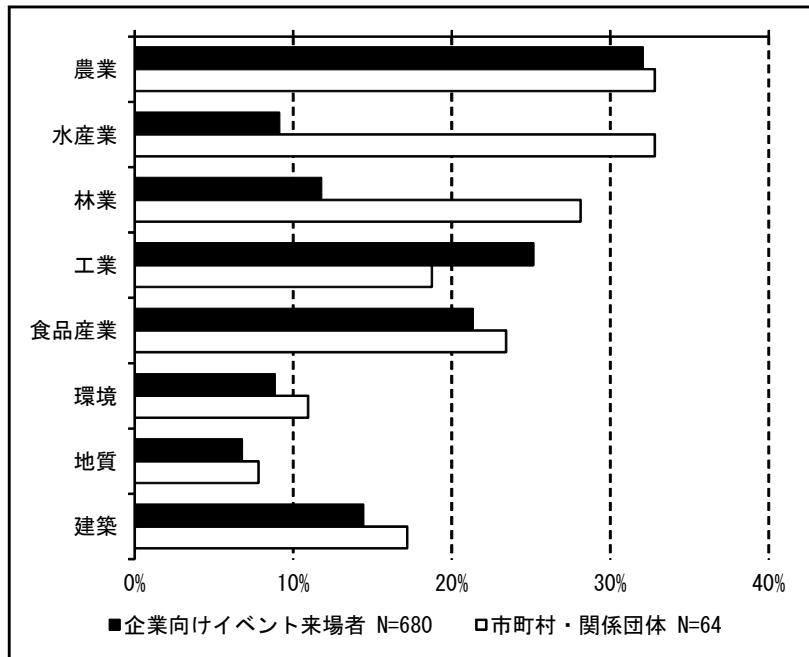
【企業向けイベント来場者(成果発表会、企業向けセミナー等)、市町村・関係団体のみ】



- ・「利用したことがある」との回答が、企業向けイベント来場者は約67%、市町村・関係団体は約37%でした。

○（道総研を利用したことがある場合）これまでに利用した分野

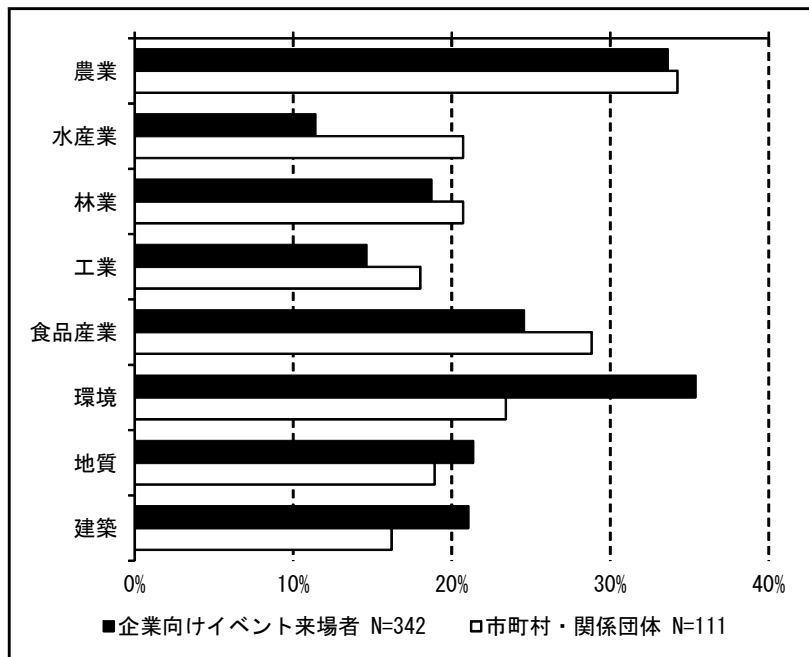
【企業向けイベント来場者（成果発表会、企業向けセミナー等）、市町村・関係団体のみ】



- ・企業向けイベント来場者の「これまでに利用した分野」で最も多い回答は「農業」で約32%、次いで「工業」が約25%、「食品産業」が約21%でした。
- ・市町村・関係団体の「これまでに利用した分野」で最も多い回答は「農業」と「水産業」で約33%、次いで「林業」が約28%、「食品産業」が約23%でした。

○（道総研を利用したことがない場合）今後利用してみたい分野

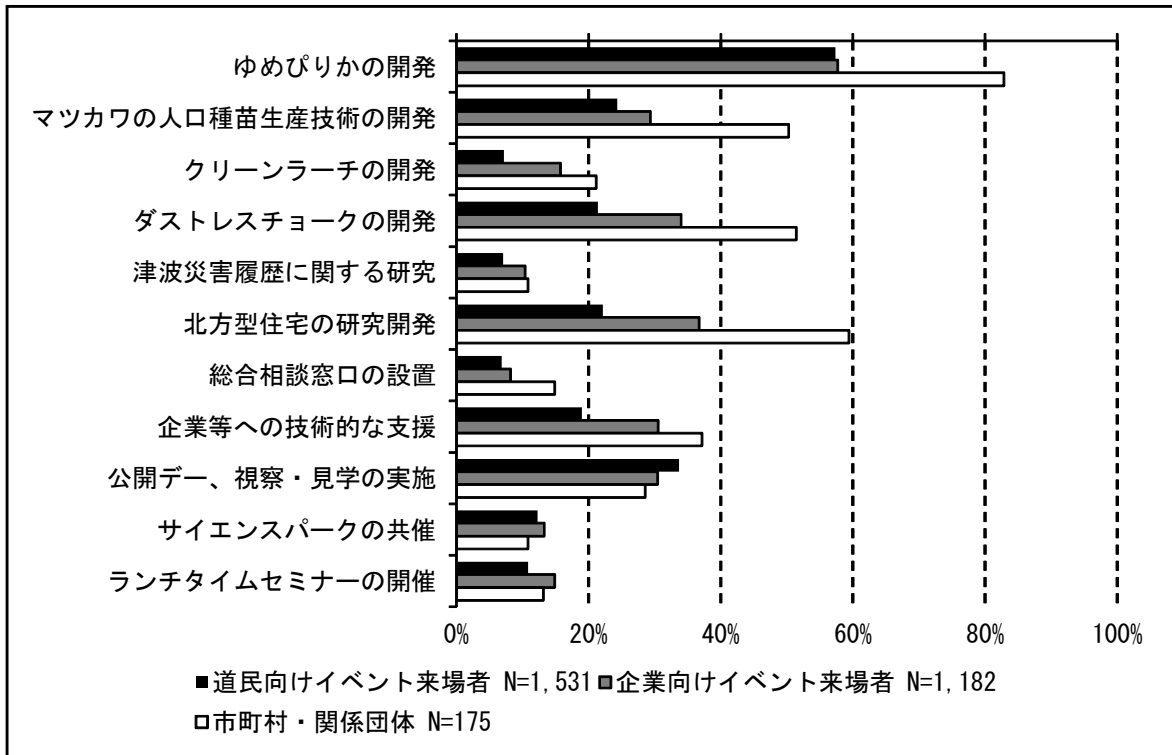
【企業向けイベント来場者（成果発表会、企業向けセミナー等）、市町村・関係団体のみ】



- ・企業向けイベント来場者の「今後利用してみたい分野」で最も多い回答は「環境」で約35%、次いで「農業」が約34%でした。
- ・市町村・関係団体の「今後利用してみたい分野」で最も多い回答は「農業」で約34%、次いで「食品産業」が約29%でした。

○道総研の次の取組みのうち、知っていることはありますか。(複数回答可)

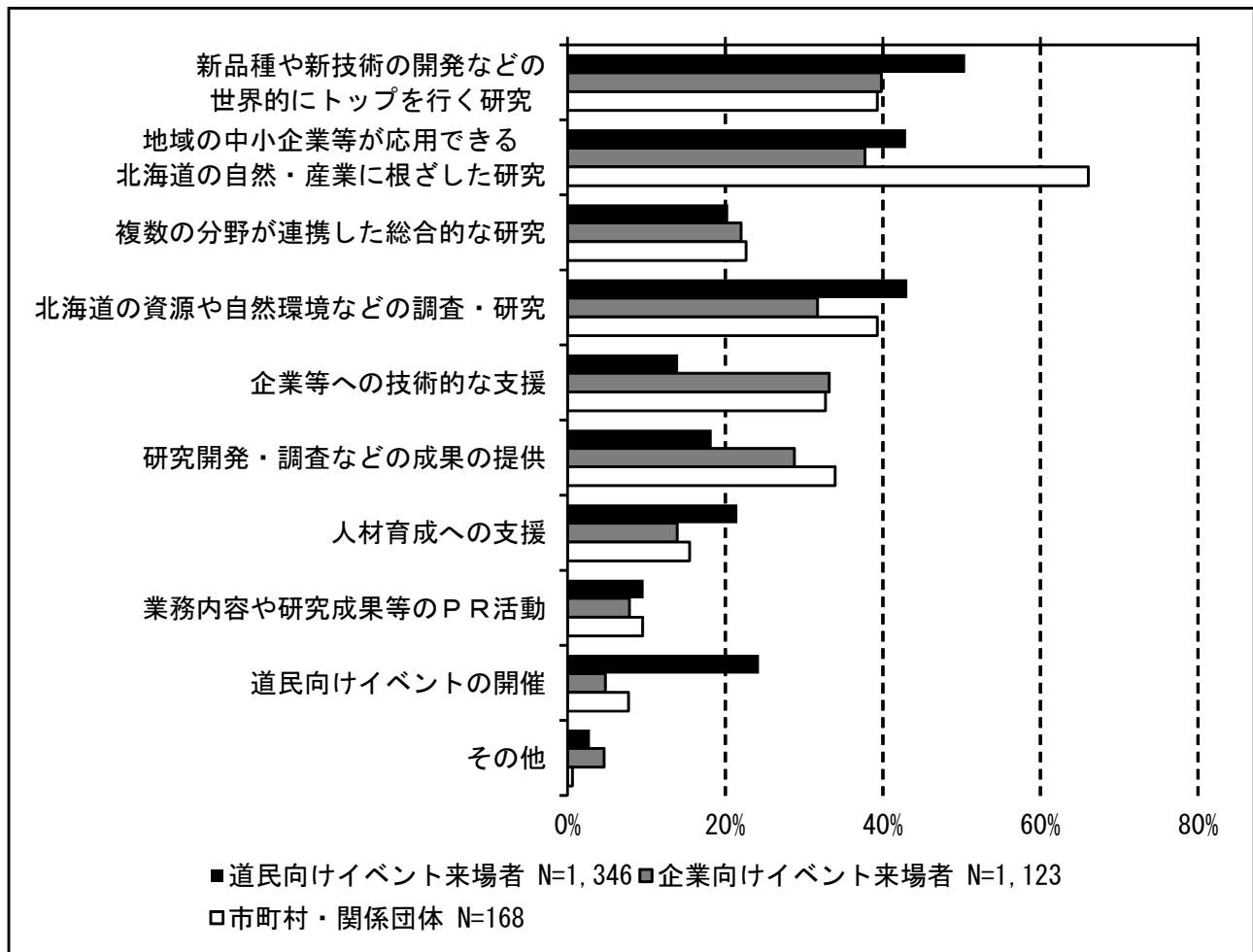
【各イベント来場者、市町村・関係団体 共通】



- 最も認知度が高い道総研の研究成果は、いずれも「ゆめぴりかの開発」でした。
- 認知度が低い研究成果は、「クリーンラーチの開発」や「津波災害履歴に関する研究」でした。
- 認知度が高いその他の取組みは、道民向けイベント来場者は「公開デー、視察・見学の実施」、市町村・関係団体は「企業等への技術的な支援」、企業向けイベント来場者はその両方でした。
- 認知度が低い取組みは、各イベント来場者は「総合相談窓口の設置」、市町村・関係団体は「サイエンスパークの共催」でした。

○道総研の今後の取組みとして、期待することは何ですか。（3つまで回答可）

【各イベント来場者、市町村・関係団体 共通】



- ・最も期待されている取組みは、各イベント来場者は「新品種や新技術などの世界的にトップに行く研究」、市町村・関係団体は「地域の中小企業等が応用できる北海道の自然・産業に根ざした研究」でした。
- ・道民向けイベント来場者からは研究活動を中心に期待が寄せられ、企業向けイベント来場者及び市町村・関係団体からは、研究活動のほか「企業等への技術的な支援」や「研究開発・調査などの成果の提供」にも多くの期待が寄せられました。



道総研・道民アンケート

※道民向けイベント（公開デー・道民向けセミナー等）来場者用

いつも、地方独立行政法人北海道立総合研究機構（道総研）の活動にご理解、ご協力いただきありがとうございます。

道総研では、より一層皆様のお役に立てる研究機関となるよう、皆様のご意見、ご要望をお聞かせいただき今後の業務の運営に反映したいと考えております。

つきましては、本アンケートにご協力くださるようお願い申し上げます。

■各問について、該当する項目の番号を○で囲んでください。

【問1】 道総研は、農業、水産業、林業、工業、食品産業、環境、地質及び建築の各分野に関する研究、技術支援等を行う試験場からなる「総合研究機関」であることをご存知ですか。（1つのみ）

1. 知っていた
2. 一部の試験場は知っていたが、「総合研究機関」であることは知らなかった
3. 知らなかった

【問2】 道総研の次の取組みのうち、知っていることはありますか。（複数回答可）

1. 道産米「ゆめぴりか」は、農業試験場が開発したこと
2. 高級魚「マツカワ」は、水産試験場の人工種苗生産技術の開発により、漁獲量が増大したこと
3. CO₂吸収能力の高い樹木「クリーンラーチ」は、林業試験場が開発したこと
4. 未利用ホタテ貝殻を活用した「ダストレスチョーク」は、工業試験場と民間が開発したこと
5. 地震被害の軽減を目的とする「津波災害履歴に関する研究」を地質研究所で行っていること
6. 北海道に適した高性能住宅「北方型住宅」を、北方建築総合研究所が研究開発していること
7. 企業等の利用者が気軽に技術的な相談ができる「総合相談窓口」を法人本部に設置していること
8. 専門的見地に立った助言等による「技術相談」、「技術指導」、「依頼試験」の実施や「試験機器等の提供」を行い、企業等の研究開発を支援していること
9. 各試験場において、「公開デーの開催」や「視察者・見学者の受入れ」を行っていること
10. 子どもたち向けの参加体験型イベント「サイエンスパーク」を夏休みに道と共催していること
11. 道庁1Fにおいて、身近な話題を科学的知見から分かりやすく紹介する「ランチタイムセミナー」を開催していること

【問3】 道総研の今後の取組みとして、期待することは何ですか。 (3つまで回答可)

1. 新品種や新技術の開発などの世界的にトップを行く研究
2. 地域の中小企業等が応用できる北海道の自然・産業に根ざした研究
3. 複数の分野が連携した総合的な研究
4. 北海道の資源や自然環境などの調査・研究
5. 企業等への技術的な支援（技術相談、依頼試験、設備提供など）
6. 研究開発・調査などの成果の提供
7. 人材育成への支援（研修生の受入、講師派遣など）
8. 業務内容や研究成果等のPR活動
9. 道民（子どもを含む）向けイベントの開催
10. その他（）

【問4】 道総研の業務に対するご意見、ご要望などがありましたらお聞かせください。

- 年齢（〇代）：
- 性別：
- 住所（市町村）：
- 職種：

ご協力ありがとうございました。

※本アンケート結果は、道総研の業務の運営以外の目的には使用しません。



道総研・道民アンケート

※市町村、関係団体、企業向けイベント（成果発表会・企業向けセミナー等）来場者用

いつも、地方独立行政法人北海道立総合研究機構（道総研）の活動にご理解、ご協力いただきありがとうございます。

道総研では、より一層皆様のお役に立てる研究機関となるよう、皆様のご意見、ご要望をお聞かせいただき今後の業務の運営に反映したいと考えております。

つきましては、本アンケートにご協力くださるようお願い申し上げます。

■各問について、該当する項目の番号を○で囲んでください。

【問1】 道総研は、農業、水産業、林業、工業、食品産業、環境、地質及び建築の各分野に関する研究、技術支援等を行う試験場からなる「総合研究機関」ですが、これまでに業務上の連携等、道総研を利用したことはありますか。また、利用したことがない場合、今後、利用してみたいですか。

	農業	水産業	林業	工業	食品産業	環境	地質	建築
1. ある → (これまでに利用した分野全て○)								
2. ない → (今後、利用してみたい分野全て○ 具体的内容は【問4】欄に記載)								

【問2】 道総研の次の取組みのうち、知っていることはありますか。（複数回答可）

- 道産米「ゆめぴりか」は、農業試験場が開発したこと
- 高級魚「マツカワ」は、水産試験場の人工種苗生産技術の開発により、漁獲量が増大したこと
- CO₂吸収能力の高い樹木「クリーンラーチ」は、林業試験場が開発したこと
- 未利用ホタテ貝殻を活用した「ダストレストョーク」は、工業試験場と民間が開発したこと
- 地震被害の軽減を目的とする「津波災害履歴に関する研究」を地質研究所で行っていること
- 北海道に適した高性能住宅「北方型住宅」を、北方建築総合研究所が開発していること
- 企業等の利用者が気軽に技術的な相談ができる「総合相談窓口」を法人本部に設置していること
- 専門的見地に立った助言等による「技術相談」、「技術指導」、「依頼試験」の実施や「試験機器等の提供」を行い、企業等の研究開発を支援していること
- 各試験場において、「公開デーの開催」や「視察者・見学者の受入れ」を行っていること
- 子どもたち向けの参加体験型イベント「サイエンスパーク」を夏休みに道と共催していること
- 道庁1Fにおいて、身近な話題を科学的知見から分かりやすく紹介する「ランチタイムセミナー」を開催していること

